



## 県指定史跡・名勝 専修寺庭園

高田本山専修寺(一身田町)の国宝御影堂・如来堂の北側には、総面積1万750㎡に及ぶ広大な庭園が広がっています。この庭園は「雲幽園」と呼ばれ、園内にある茶席「安楽庵」とともに、昭和12年に「専修寺庭園」として三重県の史跡・名勝に指定されています。

庭園は池の周囲を巡りながら景色を鑑賞する「池泉回遊式」と呼ばれる形式で作られ、南北にそれぞれ大きな池があります。庭園の東側にある入口から入り、そこから北側の池沿いに進むと茅葺きの門や石橋を経て、安楽庵に至ります。



北側の池と中島(奥)



茅葺きの門

安楽庵は入母屋造の茅葺き屋根の建物で、その西側には書院と立礼茶席の建物がつながっています。安楽庵の由来については諸説がありますが、千利休の長男である千道安と、同じく茶人として名高い織田有楽斎(織田信長の弟)の名前から一文字ずつをとって「安楽庵」と名付けられたともいわれています。また、万治元(1658)年に、津藩が窪田山に建立した茶席を移築したともいわれ、いずれにしても江戸時代初期の名席となっています。



安楽庵(左)と書院

平成8年から9年にかけて、庭園の西側において納骨堂建設に伴う発掘調査が実施されました。この調査で埋没していた池や環濠からの導水施設のほか、瓦塔などの遺物が発見され、かつての庭園は、現在よりも更に西側に広がっていたことが分かっています。寛政2(1790)年に書かれた『雲幽園記』には、かつては茶室の西に「秀雲台」という建物や、池に浮かべる船の倉庫もあったものの、この書物が書かれた当時には既に失われていたことが記されています。

このような歴史をもつ専修寺庭園では、現在公開中の映画『レジェンド&バタフライ』や、3月17日公開の映画『わたしの幸せな結婚』の撮影が行われました。通常は非公開の庭園ですが、映画の公開に合わせ一般公開も実施されます。県内屈指の名園を、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

**映画『わたしの幸せな結婚』ロケ地特別無料公開**  
 と き 3月17日(金)~19日(日)の午前・午後各1回(雨天中止) ※詳しくは、専修寺ホームページをご確認ください。

